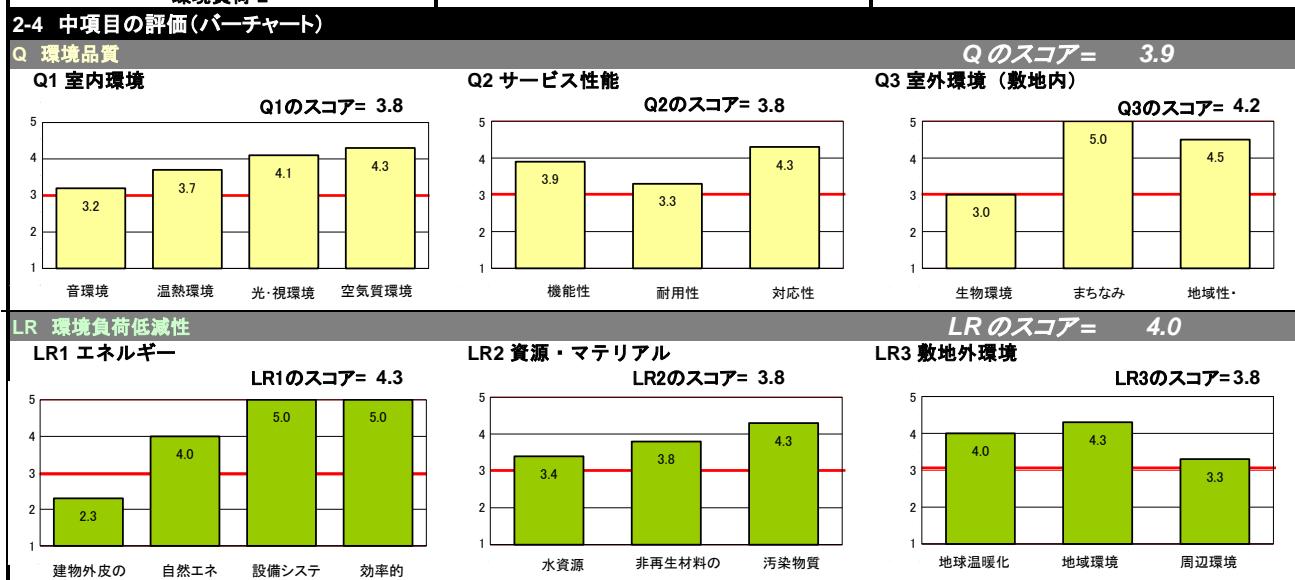
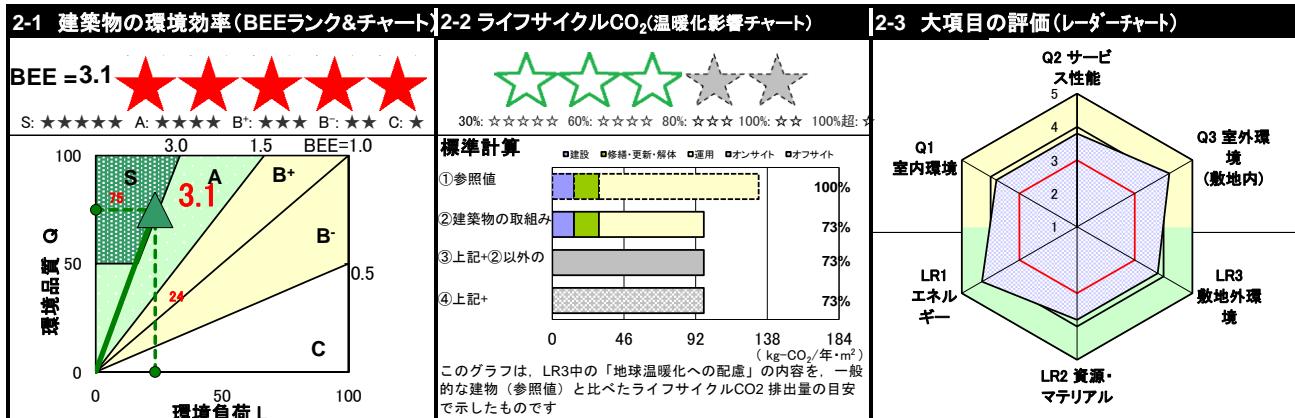


# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015(v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社島津製作所 新聞発棲(仮称)ヘルスケアR&Dセンター建設工事	階数	地上4F
建設地	京都市 中京区 西ノ京 桑原町1,1-1,1-2,2,9-1,10	構造	S造
用途地域	工業地域、20m第4種高度地区	平均居住人員	500人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2019年1月11日
敷地面積	6,633 m <sup>2</sup>	作成者	谷 泰人
建築面積	5,065 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	19,862 m <sup>2</sup>	確認者	



3 設計上の配慮事項		その他	
<b>総合</b>		特になし。	
働く人への快適な賃貸環境を図ると共に、自然採光、自然換気により環境負荷を低減させる計画としている。工場内の既存の緑地と連続する外構計画とし、建物周辺に良好な緑地を確保している。			
<b>Q1 室内環境</b>		<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>	
執務室は託すアンビエント照明システム、天井輻射空調を設け居住性を高めている。外周サッシまわりに庇を設け、熱負荷の低減を図っている。		敷地南東の緑地と連続する動線計画、外構計画とし、工場内の快適性を高めている。建物まわりに歩行者用通路と緑地を設け、安全性と快適性を高めている。	
<b>LR1 エネルギー</b>		<b>LR3 敷地外環境</b>	
Low-Eペアガラスサッシ、外壁・屋根の高断熱化を図り、熱負荷の低減をしてる。また、自然採光、太陽光発電設備を設け、自然エネルギーの活用をしてる。BEMSを採用し、効率的なエネルギー運用を図っている。		工場内の緑地と連続した外構計画とし、ヒートアイランド化の低減を図っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフケイルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される